

カテゴリー		アクション	確認	特に園で取り組みたいこと	達成度	評価・次年度に向けて
				アクション番号・具体的なアクションの内容・それを実現するための具体的な方法・手段等	◎・○・△・×	
Ⅰ 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1)乳幼児の教育・保育について、質の高い実践を行います。	☑	カテゴリーⅠ(3)	○	・クラス会議【職員の情報共有】・雑談会【保育を楽しく語り合う】の時間をなかなか設けられなかった。もっと気軽に意見交換や話し合いの場を設け、園内研修を充実させたい。
		(2)自己評価の研究・活用による教育・保育の質の向上を進めます。	☑	・保育カウンセラーや専門機関と連携し、一人一人に合わせた関わりや支援方法を学び実践する。		
		(3)子ども一人一人のニーズに対応したきめ細やかな教育・保育を提供します。	☑	カテゴリーⅠ(5)		
		(4)子どもの健康支援並びに安全の確保をします。	☑	・園内研修を通して、職員間で気軽に何でも語り合える場を設け、情報共有をする。		
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5)保育者等の人間性と専門性の向上に努め、質の高い乳幼児の教育・保育を展開します。	☑	・「みあいっこ」「公開保育」を実施し、より適切な保育のための保育の見直しや確認をする。	△	
		(6)施設長の責務を明らかにし、専門性の向上に努めます。	☑	カテゴリーⅠ(7)	○	
		(7)研修体系を確立し、研修意欲を高め、積極的に研修に取り組む環境を作ります。	☑	・気になる児童への対応についての研修を行い、職員の知識及び専門性を深める。	○	
Ⅱ 子育て家庭を支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8)子どもを産み育てることへの不安を解消するための機能を発揮します。	☑	カテゴリーⅡ(8)	○	・より丁寧な支援が必要な家庭や園児に対し、面談の機会を設け、子育てについて共に考えていった。 ・動画配信は保護者にとっても喜ばれた。「てのりの」「ドキュメンテーション」の配信回数を検討していく。
		(9)家庭との密接な連携を行い、子育てに共に取り組みます。	☑	・保育体験や個人面談を実施して、子育ての悩みなどを気軽に相談でき、安心できるような環境を整え、不安の解消に努める。		
	地域の子育て家庭への支援の充実を図ります	(10)子育ての喜びや楽しさを実感できるように、教育・保育の専門性を生かした子育て支援を行います。	☑	カテゴリーⅡ(9)	○	
		(11)地域子育て支援を展開します。	☑	・ドキュメンテーション配信(週一)・掲示、保育活動「てのりの」動画配信を通して情報共有し、子どもの成長を共に実感する。		
		(12)地域の子育て家庭に対する保育相談及び援助の充実を図ります。	☑			
Ⅲ 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13)福井市の支援事業実施関係機関や、地域を基盤とした子育て支援ネットワークとの充実を図ります。	☑	カテゴリーⅢ(14)	○	
		(14)小学校等との連携を深めます。	☑	・保幼小接続会議に参加し、就学へスムーズに移行ができるように積極的に情報交換を行う。		
		(15)認定こども園、保育所等が中心となった地域子育て協働を展開し、子育て支援の総合的な拠点となります。	☑	・小学校特別教育コーディネーターに訪問依頼し、連携して支援していく。	○	
	地域と連携して教育・保育機能を強化します	(16)地域の実情を把握し、子育て家庭を支える資源を活用し、連携を充実します。	☑			
Ⅳ 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(17)子どもと地域の人々との接点づくりに取り組みます。	☑	カテゴリーⅣ(19)	○	
		(18)地域住民に認定こども園・保育所等への理解を深めてもらう取り組みを進めます。	☑	・園内の活動や様子について保護者や地域に、ホームページ等で積極的に情報発信し、園への理解を深めてもらう。		
	子育て文化につながる活動を広げます	(19)子育て支援活動への参加のきっかけをひろげ、すべての子育て家庭の親子の参加運動を進めます。	☑			
		(20)すべての世代が関わる子育て文化の掘り起こしや子育て支援の推進や普及に取り組みます。	☑			
Ⅴ 安心して子どもを生み育てる支援づくりを進めます	これからの乳幼児の教育・保育及びその制度について研究を行います	(21)認定こども園・保育所等の役割、機能について研究を行います。	☑	カテゴリーⅤ(22)	△	・取り組みや成果、課題を発表したが、雑談会の機会がなくなってしまったため、次年度は継続して行う。
		(22)これからの乳幼児の教育・保育制度について課題の共有を行います。	☑	・福井県保育研究大会において、「保育者の資質向上のための取り組み」を発表する。		
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(23)福井市の児童福祉関係機関との連携を深め、教育・保育・子育て支援の仕組みづくりを進めます。	☑			

《確認》年度末に確認、☑チェックをする。

《特に園で取り組みたいこと》23のアクションから、特に園で取り組む内容(番号も記載)と具体的な方法等を記載する。

《達成度》◎:当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○:計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △:不足する部分や問題があった。 ×:目標を達成することができなかった。

《評価・次年度に向けて》達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。